



福県医発第2678号(地)

平成24年 2月21日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会

会長 松田 峻一 良

(公印省略)

日本救急医療財団「第2回非医療従事者に対するAED普及啓発シンポジウム
(大阪会場)」について(ご案内)

日本救急医療財団より日本医師会を通じて、標記シンポジウムを別紙のとおり開催
する旨、通知がありました。

本シンポジウムでは、2010年版心肺蘇生法ガイドラインに関する講習等も行われま
す。対象は一般の方となっておりますが、医療従事者の参加も可能とのことです。

つきましては、貴会会員への周知方よろしくお願い申し上げます。

記

第2回非医療従事者に対するAED普及啓発シンポジウム

△と き 平成24年3月3日(土) 10:30～

△ところ CIV北梅田研修センター

大阪府大阪市北区芝田2-7-18

オーエックス梅田新館5階

△参加費 無料

△申込み 下記日本救急医療財団ホームページ掲載のフォームに入力
<http://www.qqzaidan.jp/>

小郡三井医師会より

医療安全管理担当理事 島田昇二郎
学術・生涯教育担当理事 権藤秀之
会長 蒲池 壽

(地 I 237)

平成 2 4 年 2 月 1 3 日

都道府県医師会

担 当 理 事 殿

日本医師会常任理事

石 井 正



日本救急医療財団「第2回非医療従事者に対するAED普及啓発
シンポジウム（大阪会場）」について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、日本救急医療財団主催による「非医療従事者に対するAED普及啓発シンポジウム」につきましては、第1回が昨年8月東京都において開催され、平成23年7月11日付（地 I 103）の文書をもってご案内申し上げました。

今般、「第2回非医療従事者に対するAED普及啓発シンポジウム」が大阪会場にて開催されることになり、小職に対して周知方等の依頼がありました。なお小職は、本シンポジウムの開催を決定した同財団「非医療従事者によるAED使用のあり方特別委員会」に、委員として参画しております。

本シンポジウムは、一般の方を対象とするものではありませんが、先般確定した日本版の心肺蘇生法のガイドラインの説明等も行われるとのことでもあります。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了解いただくとともに、ご参加いただければ幸甚に存じます。

追って、シンポジウムの参加料は無料であり、同財団ホームページ記載のフォームに入力して申し込むとのことですのでよろしくお願い申し上げます。



第2回 非医療従事者に対する AED普及啓発シンポジウム(大阪会場)

参加無料

■大阪会場 CIVI北梅田研修センター

■目 時 平成24年3月3日(土)

あいさつ 日本救急医療財団 理事長 島崎 修次
シンポジウム実行委員長 坂本 哲也

第一部 10:30-12:30

「AED認可から7年 さらにAEDの使用を増やすための障壁
解決に向けて」AEDの設置、登録、普及、使用の現状と問題

座長 三田村 秀雄 田中 秀治

第二部 13:30-14:30

「講習会」

座長 坂本 哲也

第三部 14:45-16:45

「AEDを使える人を増やすための方策を考える」

座長 石見 拓 漢那 朝雄

主催：財団法人日本救急医療財団／非医療従事者によるAED使用の在り方特別委員会
後援：厚生労働省、消防庁、国土交通省、海上保安庁、大阪府、大阪市、日本赤十字社、
日本医師会、NPO大阪ライフサポート協会に申請中

本事業は、自賠責運用益拠出事業として実施されます。

シンポジウムの狙い



島崎修次 先生

日本救急医療財団 理事長 島崎 修次

2010年10月15日救急医療財団は2010心肺蘇生法（CPR）ガイドラインを発表しました。日本蘇生協議会（JRC）と合同で6カ月近く協議を重ね、ILCORの推奨を準拠したものです。今回のガイドライン2010では、院外で突然の心停止に陥った患者を救うには、①心停止の予防 ②早期認識と通報 ③一次救命処置 ④二次救命処置と心拍再開後の集中治療の4つの救命の連鎖が重要であると定義いたしました。新しく予防の重要性を掲げ、次いで実際の発生時に特に迅速な除細動と確実な胸骨圧迫が最重要と位置づけられています。

しかし、一般市民が行う自動体外式除細動器（AED）を用いた除細動は、現在までの心肺蘇生法60年の歴史の中で最も有効かつ進歩した処置であり、そのことは2004年以来、わが国からAEDの有効性を示す多くのすぐれた研究結果が世界に向けて発表され証明されてきました。2012年1月現在、我が国のAEDの設置数は30万台を超え世界有数の設置国となりました。実際、救急救命士が現場に到着するよりも前に、一般市民により胸骨圧迫とAEDによる除細動が行われた場合、その蘇生効果は2倍以上にも達することが分かりました。

しかし一方、AEDの処置は現場で突然倒れた人のわずか2%しか処置されておらず、使用方法のさらなる普及が必要であります。さらには任意に設置されたAEDの管理や登録、そしてメンテナンスなどが十分でなく使用に際しての障害となっていることも事実です。

我々日本救急医療財団では、このような問題点を解決するために、2010年より日本損害保険協会の援助を受けAED普及啓発事業を実施してまいりました。その一つが専門家・有識者による問題解決のための協議です。そしてAED普及啓発事業の一環として今回、非医療従事者のかたにむけてAED普及啓発シンポジウムを実施させていただくことになりました。

今回のシンポジウムのねらいは、これまで専門家が指摘をした議論をベースに非医療従事者のかたによるAEDの使用をいかに増やすか、そのため、今後どのような講習方法をとればいいのかを、医師からの視点だけでなく、AEDを使用する一般市民の目線で考えることを目的として開催させていただきます。さらに当日は心肺蘇生講習会で簡易型人形数種を用いて新しい2010年ガイドラインに準じた講習を実施してもらいます。今回の2010ガイドラインですが、どう変わったかを含め、分かりやすく説明してもらえと思います。

さらに今回は心肺蘇生のみならず交通事故などの処置についても日本赤十字社大阪支部のご協力の下、実施する予定です。

今後さらなるAEDの普及・啓発活動を進め、市民の命を守るため、安心で安全な街作りを構築していきたいと考えています。どうぞみなさまふるってご参加ください。



シンポジウム実行委員長 坂本 哲也

昨日まで元気だった人が、突然の心停止にみまわれて貴重な命を落とすことは決してまれな出来事ではありません。市民による心肺蘇生とAEDの使用により一命を取りとめ、それまでの生活に戻るまで回復できる人は増えつつありますが、いまだ犠牲者のごく一部に留まっています。本シンポジウムとしまして、折角のAEDが少しでも多く活用されるためにはどうしたらいいのかを、受益者でもある市民の皆さまと一緒に考えたいと思います。



坂本哲也 先生

第一部

シンポジウム1の狙い

座長 東京都済生会中央病院心臓病臨床研究センター長 三田村秀雄
座長 国士舘大学大学院救急システム研究科教授 田中 秀治

10:30 - 12:30

「AED 認可から7年 さらなる AED の使用を増やすための障壁解決に向けて」AED の設置、登録、普及、使用の現状と問題を討議する。

- 1 ■■ AED 普及の現状の問題 近畿大学医学部附属病院救急診療部長 平出 敦
- 2 ■■ AED 設置情報の把握と公開、管理について 日本医科大学高度救命救急センター主任教授 横田 裕行
- 3 ■■ AED 使用時のフォローアップ 救急救命東京研修所教授 田邊 晴山
- 4 ■■ AED 設置基準の提案 東京都済生会中央病院心臓病臨床研究センター長 三田村秀雄

第二部

講習会

座長 帝京大学医学部 救命救急センター教授 坂本 哲也

13:30 - 14:30

「応急手当講習会とG2010に準拠した心肺蘇生講習」

- 1 ■■ 交通事故の応急手当のポイント 日本赤十字社大阪支部
- 2 ■■ 非医療従事者に対する心肺蘇生入門講習 京都大学環境安全保健機構附属健康科学センター助教 石見 拓

休憩

第三部

シンポジウム2の狙い

座長 京都大学環境安全保健機構 附属健康科学センター助教 石見 拓
座長 九州大学医学研究院先端医療 医学部門災害救急医学助教 漢那 朝雄

14:45 - 16:45

非医療従事者に対する AED を含めた心肺蘇生法の指導—2010 年ガイドラインに準拠した指導法の普及について—

- 1 ■■ 応急手当普及員が感じる非医療従事者への指導の難しさ 福岡応急手当普及会の会 池田 倫子
- 2 ■■ 2010年版ガイドライン下における熟練段階に応じた 種々の指導方法と心肺蘇生法指導のポイント 帝京大学医学部救命救急センター教授 坂本 哲也
- 3 ■■ 心肺蘇生教育の地域への戦略的展開と実践 豊中市消防本部 中井 正平
- 4 ■■ 学校へのCPR教育について—世界に先駆けた教育— 国士舘大学大学院救急システム研究科教授 田中 秀治

会場へのアクセス



所在地

〒530-0012

CIVI北梅田研修センター

大阪府大阪市北区芝田2-7-18 オーエックス梅田新館5階

交通

- ・JR「大阪駅」御堂筋北口から徒歩5分
- ・地下鉄御堂筋線「梅田駅」5番出口から徒歩3分
- ・阪急「梅田駅」茶屋町口から徒歩5分

注) 当会場には駐車場はございませんので、電車等でお越しください。

※参加料および申込方法

参加料は無料です

申込方法は当財団のホームページ記載のフォームに入力してお申込みください。

<http://www.qqzaidan.jp/>

第1回非医療従事者に対するAED普及啓発シンポジウムを、平成23年8月20日に東京で開催したところですが、今般、平成24年3月3日に大阪で、第2回非医療従事者に対するAED普及啓発シンポジウムを開催することとなりましたのでご案内いたします。



財団法人日本救急医療財団

〒113-0034 東京都文京区湯島3-37-4 CIC湯島ビル7F

電話：03-3835-1199・03-3835-0099 ファックス：03-3835-0299

<http://www.qqzaidan.jp/>